

日本赤十字社三重県支部社屋・災害救護支援センター  
内観イメージ

三重県赤十字血液センター 内観イメージ

**三重県の新しい赤十字活動拠点を建設中です**

最新の情報は  
特設サイトで公開中

**QRコード**

三重県支部と三重県赤十字血液センターは、災害救護体制の充実・強化や血液事業の災害時における事業継続という喫緊の課題に対応するため、津市あのつ台に移転整備を進めています。  
血液センターは令和6年春に、三重県支部は令和6年秋にオープン予定です。  
この新しい拠点が県民の期待に応え、県民から愛され、親しまれる場所となり、地域に開かれた施設となるよう各種取り組みを進めてまいります。

### 赤十字でつなぐ思い 遺贈・相続財産寄付を受け付けています。

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」といった尊いお申し出が増えています。日本赤十字社は、このような尊い思いに応えるために遺贈・相続財産寄付を承っております。

**遺贈** 遺贈によって財産の全部または一部を団体などの第三者に与えることを「遺贈」といいます。  
※「遺贈」のご検討は、金融機関・弁護士・司法書士などの専門家へのご相談が安心です。

**相続財産寄付** 相続により取得した財産の全部または一部を寄付することを「相続財産寄付」といいます。

ご寄付いただいた財産は非課税となる税制上の優遇措置があります。

**遺贈者のお声** (80代、男性)  
テレビで地震被害に遭われた人たちを見て、胸が引き裂かれるような思いだったとき、被災地で活動する日赤を見て、遺贈を決めました。  
日赤なら一人でも多くの被災者を救ってくれると信じています。

**相続寄付者のお声** (50代、女性)  
「社会への恩返し」が口癖で、退職してからも、体調を崩すまでずっと地域のために活動し続けた父でした。  
父の最期の願いを託され、多くはありませんが、日赤さんに寄付をしたいと思います。

**お問い合わせ・資料請求▶** 日本赤十字社三重県支部 (059-227-4145) までご連絡ください。

**アンケートへのご協力を  
お願いします**

**ご協力いただいた方の中から抽選で  
15名様にハートラちゃん  
デザインバスケース&緊急用ホイッスル  
をプレゼント！**

応募締切  
**令和6年5月31日** 金必着

WEBフォームまたはハガキでご応募ください。

WEB  
QRコード  
ハガキ  
①お名前 ②ご住所 ③年齢 ④本誌を読まれた経緯（回覧など）  
⑤本誌へのご意見・ご感想 ⑥今後掲載してほしい内容  
を記載のうえ、三重県支部あて郵送ください。

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。

日本赤十字社 三重県支部  
Japanese Red Cross Society

日赤みえ 発行元/日本赤十字社三重県支部  
〒514-0004 三重県津市栄町1-891  
TEL 059-227-4145 FAX 059-227-6245  
<https://www.jrc.or.jp/chapter/mie/>

X(Twitter) ホームページ

# 日赤みえ 2023年度

**出前授業（イラストの中できけんな場所はどこかな？）**

**InStgram はじめました！**

活動やイベント・キャンペーンの情報を発信中！  
フォローよろしく  
お願いします！！

**CONTENTS**

**特集** **あなたの街の赤十字です**

- 災害発生時には直ちに出動！医療救護班任命式が行われました
- 令和4年度三重県支部収支報告
- 三重県の新しい赤十字活動拠点を建設中です
- 赤十字でつなぐ思い 遺贈・相続財産寄付を受け付けています。
- アンケートへのご協力ををお願いします

# あなたの街の赤十字です



赤十字は災害が起きた時に駆けつけるだけではありません。365日、それぞれの部門がそれぞれの場所で動き続けています。どんな状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ること。その使命を胸に、三重県でも赤十字は動き続けています。その活動の一部をご紹介します。

## ● 白杖を使った歩行や車いす体験

青少年赤十字（JRC）は、子どもたちの「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し、育てる事業です。

子どもたちが「気づき、考え、実行する」過程を重視し、学校の教育方針に基づいて先生が指導者となってさまざまな実践活動を行なっています。

JRC加盟校である名張市立桔梗が丘東小学校では、車いす体験や、アイマスクを装着して白杖を利用する歩行者体験を行いました。

体験を通して、誰の心にある「やさしさ」を行動に移すことや当事者の立場に立って考えることができます。



JRC加盟校とは、赤十字の活動に賛同し、学校生活の中で赤十字活動を行っている学校のことだよ。  
毎年、年度初めに加盟登録をお願いしています。

## ● 住んでいる街の危険について考える 防災セミナー



災害時に必要な情報を地図に落とし込み、「見える化」

7月に松阪市北部商工会の皆さんを対象に防災セミナーを開催し、「災害想像ゲームDIG」という手法を使った図上訓練を行いました。

このゲームではテーブルに広げた周辺の地図を囲み、河川や道路、狭い路地など地域の構造や自然条件について色を塗り、危険な場所や防災施設にマークをします。

「見える化」した情報をもとに、災害発生時に地域で起こり得る被害を考え、最小限に防ぐための具体的な対策を話し合いました。

防災セミナー内でのグループワークや情報共有を通して、防災への意識や地域の方々の繋がりを作ることができました。

## ● 子どもの応急手当について学ぶ 幼児安全法講習



赤十字では、子どもの発達段階ごとの特徴や起こりやすい事故の予防と手当などの知識と技術を学ぶ幼児安全法の講習を実施しています。

日赤三重県支部では、県内のファミリー・サポート・センターと協力して、子育て中の方やこれから子育てをされる方等を対象に子育てに関する養成講座を開催しています。

5月に熊野市で開催した講習会では、AEDを使った乳児・幼児の一次救命処置を学んでいただきました。



赤十字では防災や健康に関する講習会を行っているよ。  
学校や自治会への講師派遣をしているので、お気軽にお問い合わせください。

令和5年度開講分の申込受付は終了しましたが、令和6年度も開講を予定しているよ。伊勢赤十字病院のホームページにてお知らせします。

…赤十字地域奉仕団のある市町（11市5町）  
J…JRC加盟校・園数（401校・園）



## ● ハイゼックスを使った非常食炊き出し体験

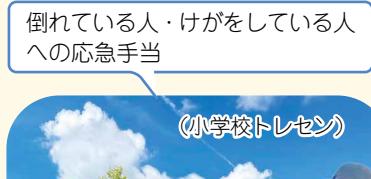
赤十字には各地域で活動する地域奉仕団やさまざまな専門技術や職業を活かして活動する特殊奉仕団など、県内で約3,000名の赤十字ボランティアが活動しています。

5月には「つながるぼうさいフェス あそ防災」に桑名市地域奉仕団が参加しました。

来場した皆さんにハイゼックス（炊飯袋）を使用したお米の炊き出し体験や、試食を実施し、参加者からは、「ハイゼックスで初めてご飯を食べました。防災体験ができ、良かったです」「ハイゼックス袋で炊いたご飯がとてもおいしかったです」と言ったお声をいただきました。



ハイゼックスとは研いだお米と水を袋に入れ、煮るだけでお米が炊ける袋だよ。炊いたお米は個包装だから、被災地でも衛生的に食べられるんだ。



## ● きけんな場所はどこ？ 災害についての出前授業

三重県支部ではJRC加盟校に出前授業を行っています。

6月に鈴鹿市立合川小学校で防災と手洗いについての授業をしました。

地震や大雨で災害が起こりそうになっている街のイラストを見て災害時にすべきことや、危険にどう備えるかを考えました。

手洗いチェックをを使った手洗い講習も行い、子どもたちは正しい手洗いの方法を学びました。



## ● 赤十字健康大学

伊勢赤十字病院では、色々な病気に対する関心を高め、予防法や対処法等を知っていただくことを目的に、当院の医師等を講師とした「赤十字健康大学」を開講しています。

7月に開催された第2回の講座では、腎臓内科医師が「ほっとけないぞう！じんそうびょう！」と題し、腎臓の働きや慢性腎臓病（CKD）について講演しました。

併せて、管理栄養士が「腎臓病っていわれたら食事どうする？」と題し、食事における減塩の工夫等について紹介しました。

当日は90名の方にご参加いただき、また、講演後には多くの参加者から質問等が寄せられ、健康づくり・疾病等の予防への関心の高さが伺えました。

## ● 夏休み献血親子教室

三重県赤十字血液センターでは、8月に「夏休み献血親子教室」を開催し、11組の親子（総勢25名）に血液や献血について楽しく学んでいただきました。

このイベントは健康やいのち、思いやりの大切さを考える機会となるとともに、献血の大切さについて呼びかけたり、献血ができる年齢になった時に献血に協力したりすることを願って開催しています。

